

男女共同参画に関する市民意識調査（案）

アンケートご協力をお願い

日頃から、岩倉市政にご理解とご協力をいただき、お礼を申し上げます。

岩倉市では、誰もが個性や能力を十分に発揮でき、いきいきと活躍できる「地域とともに支え合い、生活と仕事が調和するまち 岩倉」の実現をめざして、「岩倉市男女共同参画基本計画」を策定し、さまざまな取組を行っています。

このたび、社会情勢の変化に対応した効果的な事業を行うよう、市民の皆様のお考えや実情を調べるためのアンケート調査を実施いたします。調査の実施にあたり、市内在住の方、2,000人 を無作為に選ばせていただきました。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の主旨をご理解いただくとともに、ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、アンケートは無記名方式で、統計的に処理しますので、回答してくださった方にご迷惑をおかけすることはありません。

令和2年●月

岩倉市長 久保田 桂朗

男女共同参画社会とは・・・

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」

（男女共同参画社会基本法第2条より）

■ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
2. 質問への回答は、指示にそって番号に○をつけていただくものがほとんどですが、内容によっては、数字を記入していただくこともあります。
回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容を（ ）に記入してください。
3. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、指示にそってお答えください。
4. 記入後の調査票は無記名のまま、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
●月●日（●）までに返送してください。

※調査についてのお問い合わせは、以下の担当へお願いいたします。

担当：岩倉市役所総務部協働安全課

電 話：0587-38-5803

F A X：0587-66-6380

あなた自身のことについて

※アンケートを統計的に分析するために、令和2年●月●日現在の状況を必ずご回答ください。

A あなたの性別について教えてください。

- | | | |
|-------|-------|---------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない、わからない、その他 |
|-------|-------|---------------------|

B あなたの年代（年齢）を教えてください。

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 |
| 4. 50代 | 5. 60代 | 6. 70代以上 |

C あなたの職業は、次の中のどれにあたりますか。

1つだけ選んで○をつけてください。

自営業・自由業	会社・組織へ勤務	無職・学生
1. 農林漁業	5. 正社員・正職員	9. 専業主婦・専業主夫
2. 商・工・サービスの自営業主	6. 派遣・契約社員	10. 学生
3. 自由業（作家、芸術家など）	7. パートタイム・アルバイト	11. その他（年金生活者、失業中の方など）
4. 上記「1～3」の家族従業者	8. その他（ ）	

D あなたに配偶者はいますか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる（事実婚や別居中を含む） | 2. いない（死別や離婚を含む） |
|-------------------|------------------|



《Dの質問で「1. いる（事実婚や別居中を含む）」と答えた方にのみお聞きします》

D-1 あなたと配偶者の方は、共働きをしていますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 共働きをしている | 2. 共働きをしていない |
|-------------|--------------|

E あなたの世帯の家族構成はどれに該当しますか。1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ（一世代家族） |
| 3. 親と子（二世代家族） | 4. 親と子と孫（三世代家族） |
| 5. その他（具体的に： ） | |

男女の平等感について

《全員にお聞きします》

問1 社会全体でみた場合は、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 男性の方が非常に優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が非常に優遇されている
6. わからない

《全員にお聞きします》

問2 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。A～Gの項目について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

項目		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
場面	A 家庭	1	2	3	4	5	6
	B 職場	1	2	3	4	5	6
	C 学校	1	2	3	4	5	6
	D 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
	E 政治の場	1	2	3	4	5	6
分野	F 法律や制度	1	2	3	4	5	6
	G しきたりや習慣	1	2	3	4	5	6

男女の意思決定について

《全員にお聞きします》

問3 次の各場面における男女の意見の反映のされ方について、どのように思いますか。A～Eの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	もっと男性の意見が反映されるべき	男女の意見が平等に反映されるべき	もっと女性の意見が反映されるべき	わからない
A 家庭	1	2	3	4
B 職場	1	2	3	4
C 地域活動の場	1	2	3	4
D 市政の場	1	2	3	4
E 県政・国政の場	1	2	3	4

家庭・仕事・地域活動のバランスについて

《全員にお聞きします》

問4 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 「家庭」を優先したい
2. 「仕事」を優先したい
3. 「地域・個人の活動」を優先したい
4. 「家庭」と「仕事」を優先したい
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先したい
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先したい
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先したい
8. わからない

※個人の活動とは文化活動、学習、趣味、付き合い等のことです。

《全員にお聞きします》

問5 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、現在の状況に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 「家庭」を優先している
2. 「仕事」を優先している
3. 「地域・個人の活動」を優先している
4. 「家庭」と「仕事」を優先している
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先している
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先している
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先している
8. わからない

男女の働き方について

《全員にお聞きします》

問6 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 賛成する | 2. どちらかといえば賛成する |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば反対する |
| 5. 反対する | |

《問6で「1. 賛成する」、「2. どちらかといえば賛成する」と回答した方にお聞きします》

問6—1 そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから |
| 2. 自分の両親も役割分担をしていたから |
| 3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから |
| 4. 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから |
| 5. 家事、育児、介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから |
| 6. その他（具体的に： _____） |
| 7. 特にない |

《問6で「4. どちらかといえば反対する」、「5. 反対する」、と回答した方にお聞きします》

問6—2 そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 男女平等に反すると思うから |
| 2. 自分の両親も外で働いていたから |
| 3. 夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから |
| 4. 妻が働いて能力を發揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから |
| 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから |
| 6. 固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから |
| 7. その他（具体的に： _____） |

《全員にお聞きします》

問7 男性が育児や介護で休みをとることについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 積極的にとったほうがよい
2. どちらかという、とったほうがよい
3. どちらかという、とる必要はない
4. とる必要はない
5. わからない

《問7で「1. 積極的にとったほうがよい」、「2. どちらかという、とったほうがよい」と回答した方にお聞きします。》

問7-1 そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 子どもに良い影響を与えるから
2. 女性が働きやすい環境につながるから
3. 男性自身も充実感が得られるから
4. 男女共同参画意識が図れるから
5. 男性の働き方を考えるきっかけとなるから
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

《問7で「3. どちらかという、とる必要はない」、「4. とる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問7-2 そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 職場の理解が得られないから
2. 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
3. 取得後の職場復帰への不安があるから
4. 仕事の量や責任が大きいから
5. 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから
6. 女性のほうが育児・介護に向いているから
7. 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから
8. その他（具体的に： _____）
9. わからない

《全員にお聞きします》

問8 あなたは、女性が職業をもつことについてどのように考えますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは職業をもつ方がよい
4. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
5. ずっと職業をもった方がよい
6. その他（具体的に： _____)
7. わからない

《全員にお聞きします》

問9 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

1. 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護支援サービスの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性の家事参加への理解・意識改革
5. 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
6. 働き続けることへの女性自身の意識改革
7. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
8. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
9. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
10. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取り扱いの禁止
11. その他（具体的に： _____)
12. 特にない
13. わからない

《全員にお聞きします》

問 10 結婚や出産、育児を理由に仕事をやめる女性があります。その理由について、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家事や育児との両立がむずかしいから
2. 家族の協力や理解が得られないから
3. 育児休業や介護休業などの制度が不十分だから
4. 職場が結婚・出産した女性をきらい傾向があるから
5. 職場が責任ある仕事を女性に任せないから
6. 男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから
7. 保育園や保育施設の数や内容が十分でないから
8. 高齢者などの介護の両立が難しいから
9. 子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから
10. その他（具体的に： _____）
11. わからない

《女性にお聞きします》

問 11 離職した女性が、再就職を考えたとき何を基準にするとお考えですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい
2. 仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい
3. これまでの知識や経験を生かして、パート・アルバイトとして働きたい
4. 働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい
5. その他（具体的に： _____）
6. わからない

生涯を通じた生活について

《全員にお聞きします》

問 12 生涯を通じて安心して暮らすために必要と思うものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. 継続して働くことができる環境が整っていること
2. 自分や配偶者が健康でいること
3. 介護や医療、子育てなどの公的な支援制度が整っていること
4. 地域で安心して暮らせる環境が整っていること
5. あらゆる悩みに対応できる相談窓口が整っていること
6. 趣味や地域活動など生きがいをもっていること
7. その他（具体的に： _____）
8. わからない

子どもへの男女共同参画教育について

《全員にお聞きします》

問 13 子育ての方針について、どのように考えますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい
2. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
3. その他（具体的に： _____)
4. わからない

《全員にお聞きします》

問 14 男女平等の人間関係をつくるために学校教育の場で必要と思うものを次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
2. 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する
3. 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する
4. 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく
5. 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす
6. その他（具体的に： _____)
7. わからない

性的少数者やドメスティック・バイオレンス（DV）などについて

《全員にお聞きします》

問 15 これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為を受けた経験がありますか。あてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 命の危険を感じるくらいの暴力を受けた
2. 医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた
3. いやがっているのに性的な行為を強要された
4. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた
5. 何を言っても無視され続けた
6. 交友関係や電話を細かく監視された
7. 「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われた
8. 大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした
9. 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた
10. 今までなかった

《問 15 で、1 から 9 を選んだ方にのみお聞きします》

問 15-1 これまでに配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 家族に相談した | 2. 友人・知人に相談した |
| 3. 行政機関に相談した | 4. 警察に連絡・相談した |
| 5. 弁護士に相談した | 6. 医師に相談した |
| 7. 民間のカウンセリングルームに相談した | |
| 8. その他（具体的に： _____) | |
| 9. だれにも相談しなかった | |

《問 15-1 で「9. だれにも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

問 15-2 だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから |
| 2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから |
| 3. 相談しても解決できないと思ったから |
| 4. 相談した相手の言動により、かえって不快な思いをすと思ったから |
| 5. 自分さえ我慢すればよいと思ったから |
| 6. 世間体が悪いから |
| 7. 他人を巻き込みたくなかったから |
| 8. そのことについて思い出したくなかったから |
| 9. 自分にも悪いところがあると思ったから |
| 10. 相談するほどのことでもないと思ったから |
| 11. その他（具体的に： _____) |

《全員にお聞きします》

問 16 あなたは、配偶者、パートナーまたは恋人からの暴力について相談できる窓口をご存知ですか。知っている相談窓口をすべて選んで○をつけてください。

1. 配偶者暴力相談支援センター（愛知県女性相談センター）
2. ウィルあいち（愛知県女性総合センター）
3. 岩倉市役所
4. 警察
5. 民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）
6. 法務局、人権擁護委員、法テラス
7. その他（具体的に： _____)
8. 相談窓口として知っているところはない

《全員にお聞きします》

問 17 性的少数者について

(1) あなたは、性的少数者に関する次のことについて知っていますか。次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 性的少数者を表す言葉のうち、レズビアン（Lesbian：女性同性愛者）、ゲイ（Gay：男性同性愛者）、バイセクシャル（Bisexual：両性愛者）、トランスジェンダー（Transgender：性同一性障害などで、心と体の性が一致しない人）の人を、それぞれの頭文字をとり、「LGBT」というものがあること
2. 性的少数者を表す言葉のうち、性的指向（Sexual Orientation：「どのような性別を好きになるか」と性自認（Gender Identity：「自分の性をどのように認識しているか」、「心の性」）の頭文字をとり、「SOGI」というものがあること
3. 本人が、公にしていなかった性的指向や性自認を表明することを「カミングアウト」と呼ぶこと
4. 本人の了承なく、性的指向や性自認を暴露することを「アウティング」と呼ぶこと
5. 性的少数者が雇用や健康、家族形態など、様々な面で困難な状況にあること

(2) 身近な方（家族、友人など）が性的少数者だった場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。（ご自身が性的少数者である方もお答えください）

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

(3) 学校や職場内の方が性的少数者だった場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。（ご自身が性的少数者である方もお答えください）

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

問 18 男女間における暴力を防止するために必要と思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える |
| 2. 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う |
| 3. 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う |
| 4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う |
| 5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす |
| 6. 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う |
| 7. 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う |
| 8. 加害者への罰則を強化する |
| 9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を規制する |
| 10. その他（具体的に： _____) |
| 11. わからない |

男女共同参画社会について

《全員にお聞きします》

問 19 次の用語について知っていましたか。A～Jのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	言葉も内容も知っていた	言葉だけは知っていた	知らなかった
A 男女共同参画社会	1	2	3
B 女子差別撤廃条約	1	2	3
C ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3
D ジェンダー(社会的性別)	1	2	3
E 男女雇用機会均等法	1	2	3
F 仕事と生活の調和 (ワークライフバランス)	1	2	3
G DV(配偶者、パートナーまたは恋人に暴力をふるうこと)	1	2	3
H 面前DV(親が子どもの前で配偶者や親族らに暴力をふるうこと)	1	2	3
I JKビジネス	1	2	3

ワーク・ライフ・バランスとは・・・

やりがいや充実感を感じながら働くとともに、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現でき、子育て、介護、自分自身の時間なども充実できることです。実現のためには、働き方などを見直していく必要があります。

《全員にお聞きします》

問 20 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、岩倉市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 審議会や各種委員会に女性を積極的に登用する
2. 岩倉市の管理職に女性を積極的に登用する
3. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する
4. 保育施設や保育サービス等の子育て支援を充実する
5. 介護施設や介護サービス等の福祉施策を充実する
6. 学校教育において、男女の平等と相互の理解や協力についての学習機会を充実する
7. 労働時間の短縮や在宅勤務、柔軟な労働時間制度など、男性も含めた働き方の見直しを進める
8. 子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する
9. 子育てや介護等でいったん仕事をやめた人の再就職を支援する
10. 男女の平等と相互の理解や協力について、市広報誌やパンフレットなどでPRする
11. その他（具体的に： _____)
12. 特に必要なことはない
13. わからない

《自由意見》

■以下のことについて、ご意見をお書きください

男性が 仕事と家事、育児、介護 を両立することについて	
女性が 仕事と、出産、子育て、 介護などを両立すること について	
LGBT 等性的少数者への 認識について	
その他 男女共同参画に関して	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
この用紙は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
●月●日（●）までに返送してください。